

情報処理概論 Q&A

Q ②の解説で、“A2に「1960」、A3に「=A2+5」と入力し、A3からA11までコピーすればよい”と書いてあるのですがこちらでやるメリットはあるのでしょうか？私は二番目の方法を使いましたが、最初に書いてある方法にメリットがないように感じます。

A 確かに今回の状況では、2つのセルに入力し、それらに対するオートフィルで十分かと思います。しかし、例えば数式を使っておけば、A2の値を変更すると、A3以降も変わってくれます。また、一定量の増減ではなく、一定率の変化などの場合は、数式を使う必要があります。ということで、いろいろな方法が頭に浮かぶ、その中で良いものを選ぶことができるようになっていって下さい。

Q 質問なのですが、解説においてA列を中央揃えにしたと書いてあり、私も実際にやってみた所、値も中央揃えになりました。ですが、問題の紙では右揃えになっているのはどうしてでしょうか。

A ゴメンナサイ。解答例を作る際に、直し忘れしました。直しておきます。ご指摘、ありがとうございます。

Q 解説とは少しずれてしまうが、C10を入力する際、86,220がEnterを押すとどうしても、86,22になってしまういろいろな方法をしていたら正しい数値を入力できたが、どうしたら0が消えなかったのかわかりづかった。

A そうなったときの状況を見ていないので違っているかもしれませんが、「,」（カンマ）と「.」（ピリオド）を間違えたのではないかと思います。そうすれば86220が8622となってしまうことが説明できます。記号については、ちょっと間違えただけで、人間が見た場合は問題なくても、機械の場合はおかしくなってしまうことがあります。記号等についてはテキストのp.8~9にまとめておきましたので、確認しておいて下さい。ただし、解説でも触れたように、小数点のピリオドは手入力する必要がありますが、桁区切りのカンマは設定によって表示させた方がよいかと思います。それとついでに言っておくと、日本では桁区切りにはカンマ、小数点にピリオドを用いますが、海外では桁区切りにピリオド、小数点にカンマを使う国もたくさんあります（0.1秒のことを「コンマ1秒」という言い方をするのも、その辺の関係ですかね）。そこで、Excelではオプション（詳細設定）により、桁区切りや小数点で使う文字を設定することができるようになっています。今回は違うと思いますが、この設定を変更して小数点にカンマを使うとしてしまっても、質問のような状況になってしまうでしょう。

Q 私が今回したミスが、同じデータを二回打ち込んでしまい、セルが一個ずつずれてしまうものでした。直す際に、二回打ち込んだセルの片方を削除し、上方向に詰めることを行ったら、F列にエラーが出てしまいました。また、削除ではなく、セルの内容を消去、下の上に詰めたセルを範囲指定して移動させても同じようにF列にエラーが出て、結局打ち込んだものを一回消してもう一度間違えたところから入力し直しました。

A 課題1の部分で、セルの削除や移動が数式にどのように影響するかをやったのは、こうした場合に混乱しないためです。あの部分が理解できていれば、セルの削除や移動によりF列の数式の参照先が無くなってしまったのでエラーが起きたことが利用できると思います。ではどうすれば良いか。コピーを行えば、コピーの貼付坂井を参照している数式は変化しません。その後でコピー元を消去するなりすればいいわけです。まあ、ちょっと面倒な作業ですから、もう一度入力し直すというのも選択肢にあるとは思いますが。

Q ④は、問題文には「H2のセルに入力」と書いてあるが、おそらく「H3のセルに入力」なのだと思う。最初H2に入力し、変化率なのにこの位置はおかしい気が... と思い問題の完成図の表をみたらH3に入力されていたので訂正できた。

A まず、60年から65年の変化率を60年の欄に書くことそのものがおかしいかということ、それは必ずしもそうではないだろうと思います。60年の値があって、それがその変化率で変化し、翌期（65年）に至ると考えられるからです。勿論、65年の所に書くのがおかしいということではありません。そうしたことで、最初は65年の所に60年から65

年の変化率を置いていたのですが、数年前に上記の理由で 60 年に置くようにしました。しかしながら、やはりと言いますか、これは評判が悪かったので、今年度に元に戻しました。その際に、解説の所を訂正するのを忘れていたのでこのようになったということです。と言うことで、これ自身は私のミスです。申し訳ありませんでした。訂正しておきます。ただし、上でも書いたように、60 年の所にその後の変化率を置くことについては間違いとは考えておりません。ご意見があればお寄せ下さい。

Q 私は H3 に「=SUM(B3/B2-1)」と入力することで出来たのだが・・・

A たまにこうした数式を使う人を見かけますが、SUM などを使う必要は全くありません。ただ一つのセルの総和は、そのセルの値そのものですから。何か関数を使わないと気が済まないんですかね。

Q (罫線について) どうしても、たくさん線を引こうとして、むしろ見にくくなってしまったかなと思うので、どのように引くと見やすい表が作れるのか、もっと研究したいと思った。

A 罫線については、こうすれば良いというただ一つの正解があるわけではなく、表そのものの大きさや、それを校正する文字の大きさ、あるいは印刷の精度といったものによりどのような罫線が良いかも変わってくると思います。様々なシーンで見る表の中で、「アッ、こんなやり方もあるな。」という引き出しを増やしておくことが重要でしょうね(当時にそれを実現できる操作技法も求められます)。

Q コメントの入力は、最初にセル結合をしてから、コメント入力をしようとしたら、真ん中あたりに文字が来てしまっ、いくつか試してみても、上手く入力ができなかったので、セル結合をしてから入力するのではなく、セルを右クリックした際にあらわれるコメントの挿入という場所をクリックし、そこに出てきた黄色いスペースにコメントの入力をした。しかし、解説には、コメントの挿入を使用するとは書いていなかった。どうしたらセル結合してから左上ピッタリから文字入力ができるのかが自分には理解できなかった。

A 講義の際にも触れたように、Excel を使って文字中心の表を作ると言うことがかなり多くあります。この辺についてはテキストの p.103 に説明がありますので、しっかり確認しておいて下さい。それと、文字が真ん中に来るのは、設定が中央揃えになっただけで、**ホーム** の**配置**で左揃えにしてやれば左側から文字が表示されるようになります(両端揃えにするには、セルの書式設定のダイアログボックスを利用することが必要)。上下の位置についても同様です(これは p.103 で説明指定ある)。

テキスト p.9 の訂正

記号 # の読み方をテキスト p.9 では「ナンバリングマーク、井桁、シャープ」としましたが、これを「ハッシュマーク、番号記号、井桁」に訂正します。# は番号を表すのに使われています(日本ではそれほど多くは使われていませんが)。そこから番号記号、あるいはナンバリングマークなどと呼ばれます。一方、10 年ほど前からここに数式を入力します。Twitter において、ある話題を表す際にキーワードの先頭に # を付けてハッシュタグとする利用法が広まり、ハッシュマークという呼び方が一般化しました(ハッシュタグと言ってしまうと、# とその後ろに付けたキーワードを含めたもの全体を表すので、記号だけの場合はハッシュマークあるいはハッシュ記号と呼んだ方が良いでしょう)。井桁は、その見た目から付けられたこの記号の日本語名です。# を少し前はシャープと呼ぶことが多かったのですが、# の横線が水平なのに対して、井は(五線紙との関係があるので)少し斜めになっており、違う記号とされています。と言うことで、未だにシャープという言い方は結構使われていますが、厳密には間違いということになります。